

令和5年度 北海道開発局 石狩川水系空知川総合水防演習

空知川流域における洪水などの災害に備え、広域的な防災関係機関との密接な連携と水防技術の向上、並びに水防意識の高揚を図ると共に、水防に対する地域住民の理解と協力を求めることを目的とし、消防団をはじめ陸上自衛隊、地域住民等の多様な参加のもと、空知川の氾濫を想定した水防工法、救出・救護訓練等、実践的な演習を実施。

- 開催日時 令和5年6月3日（土） 9：30～11：30
- 実施場所 石狩川空知川合流点（滝川市中島町地先）
- 実施した演習 水防工法訓練、被災者等救助訓練、TEC-FORCE訓練、避難所開設訓練他
- 参加機関 21機関
- 参加者 清水国土交通大臣政務官、鈴木北海道知事、前田滝川市長、協全国水防管理団体連合会会長、衆参国會議員、空知川流域の8市町長をはじめとする約1,000人（来賓及び一般見学者含む）



開会式の様子



漏水対策工法(釜段工)



漏水対策工法(月の輪工)



令和5年度石狩川水系空知川総合水防演習の総指揮者を務め、水防技術の向上、伝承、普及に尽力された**滝川消防団長 小林氏**が「北海道開発局水防功労者表彰」として表彰されました。(写真：令和5年12月20日表彰伝達式_滝川市役所)

※「北海道開発局水防功労者表彰」は、開発局が所管する河川の水防に関して著しい功績があり、他の模範として推奨に値すると認められる団体又は個人を表彰する制度。



滝川市による避難所開設



自主防災組織による住宅浸水防止訓練



被災者救助訓練

〈今年度の主な出水〉

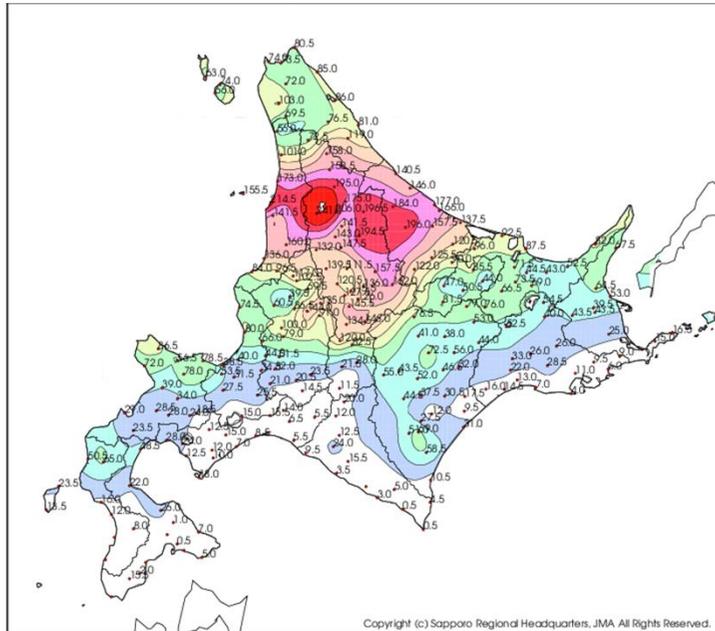
- ・雨竜川 8月3～7日 降雨出水
- ・厚別川・月寒川 9月4～5日 降雨出水
- ・厚別川・月寒川 9月18日 降雨出水
- ・豊平川 11月17日～ 降雨出水

【出水概要】

- 8月3日から7日にかけて、北海道にかかった前線に暖かく湿った空気が流入し、道内広い範囲で大雨。
- 上流域の雨竜郡幌加内町朱鞠内では降り始めから241mmを観測。
- 雨竜川の多度志水位観測所では「氾濫危険水位」を超え、平成30年洪水と同規模の高い水位を記録。
- 雨竜川の堤防の無い箇所での氾濫や内水により、約35haが浸水。

【雨竜川で基準水位を超過した観測所】

- 氾濫危険水位超過
→多度志観測所
- 避難判断水位
→幌加内・雨竜橋 2観測所
- 水防団待機水位超過
→北竜橋観測所



降り始め(3日3時)から8日0時までの雨量
(札幌管区气象台資料より)

● 計画高水位

計画された流量を安全に流下させる計画の水位

● 氾濫危険水位

洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫の起こるおそれのある水位

● 避難判断水位

避難準備情報の判断、避難所の開設、要配慮者の避難判断の目安となる水位

● 氾濫注意水位

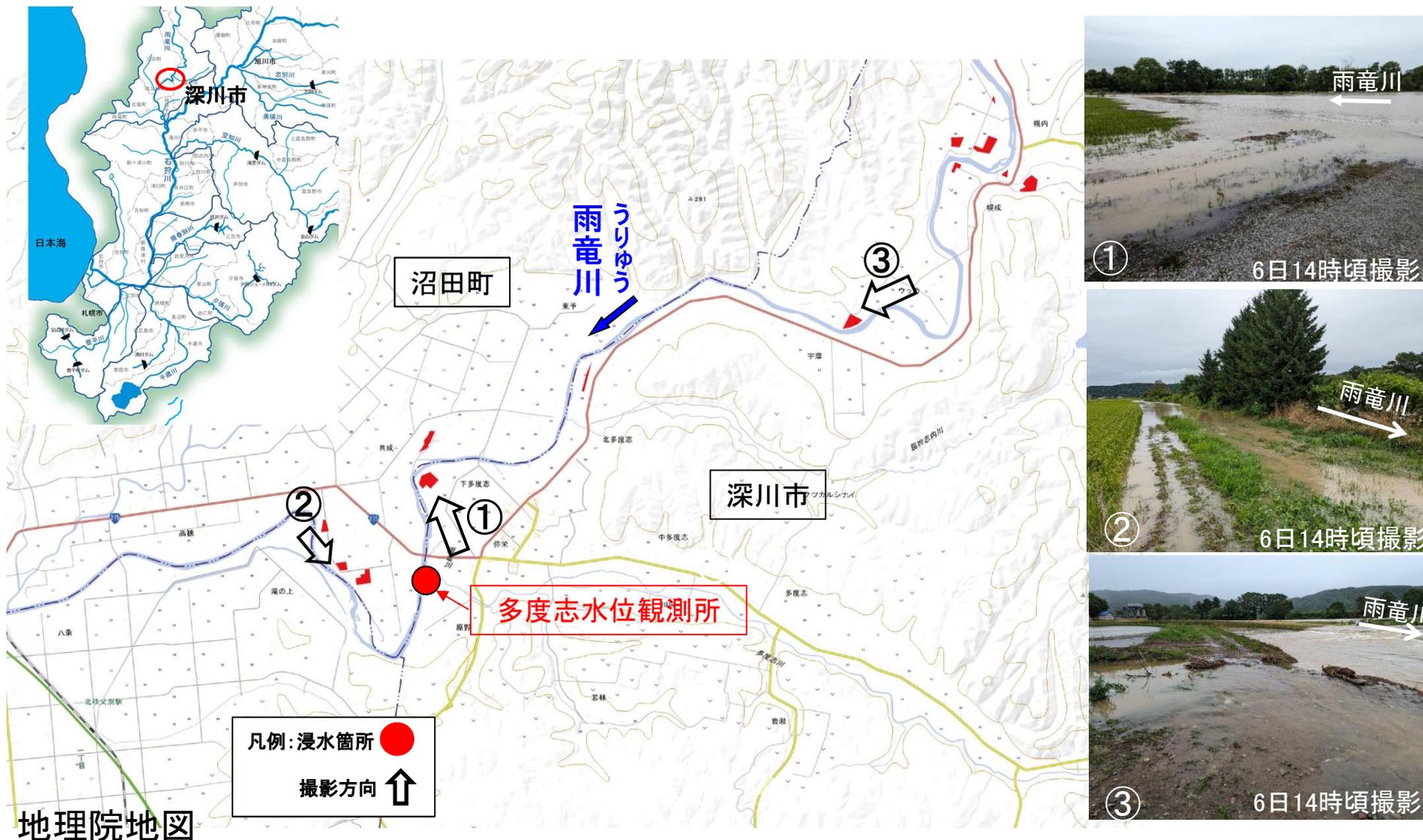
水防機関が出動して水防活動を行う目安となる水位

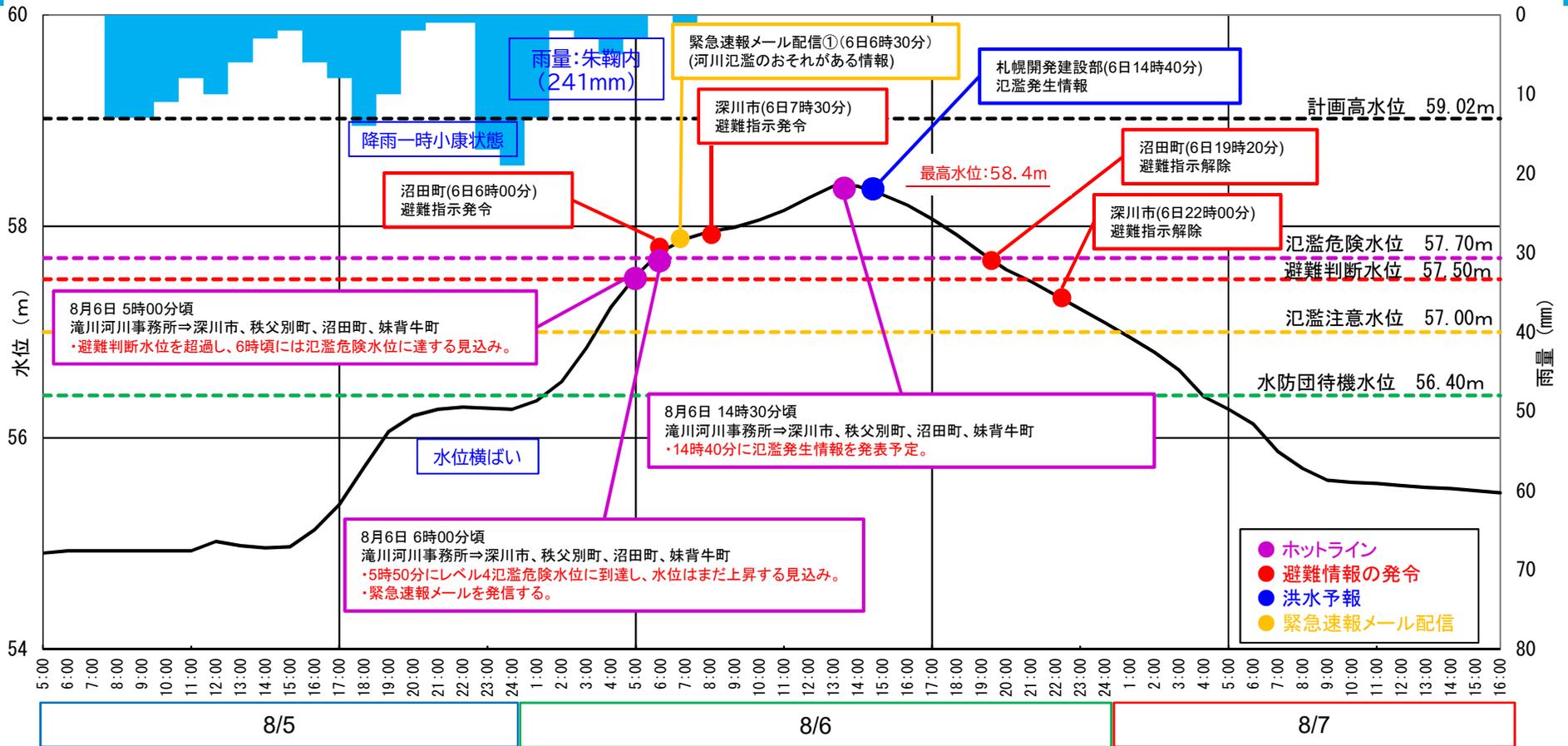
● 水防団待機水位

水防団が水防活動するため待機する水位



○特に深川市多度志付近及び沼田町共成付近において、田畑など約20haの浸水を確認。
なお、家屋の浸水はない（開発局調べ）





発令等の対応状況

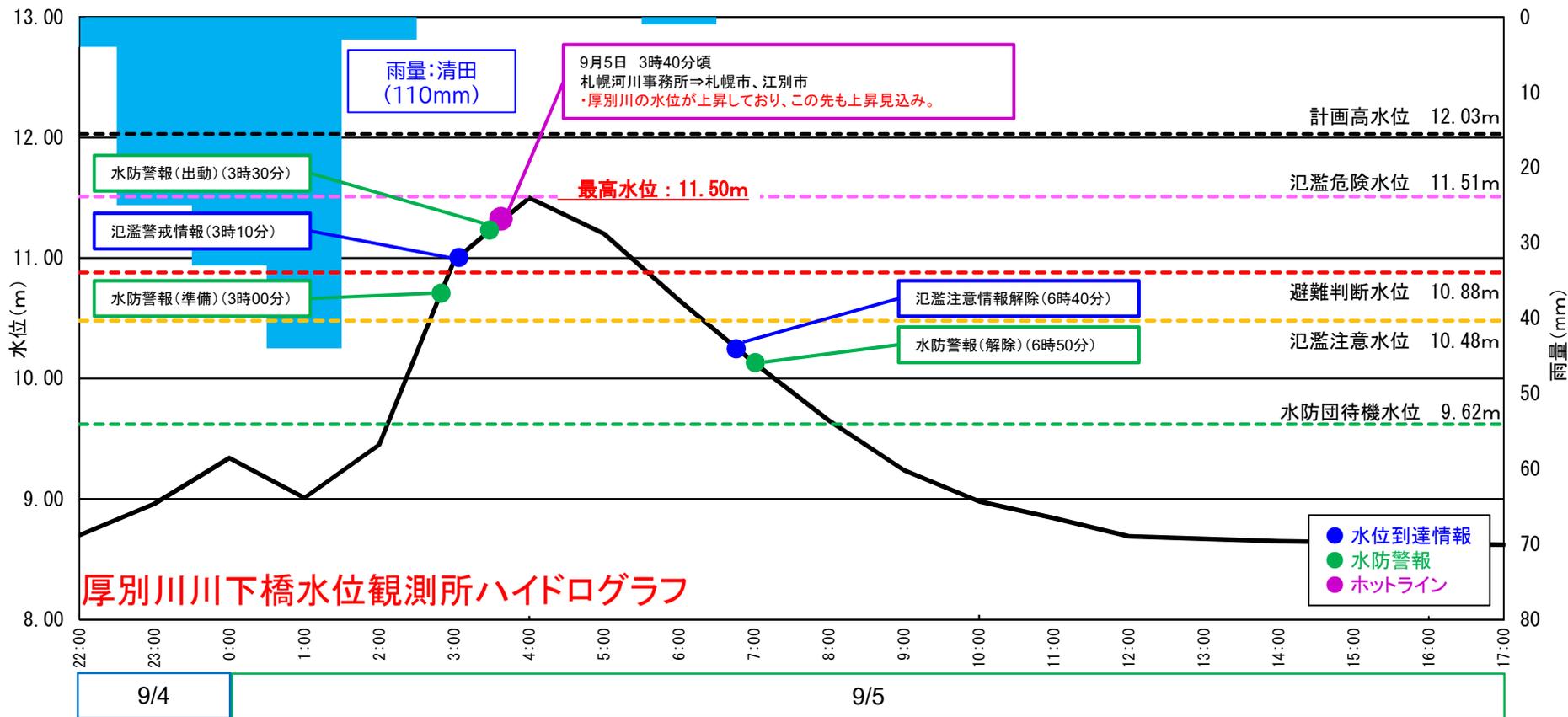
配信地区 (深川町、妹背牛町、秩父別町、沼田町)
タイトル 氾濫のおそれ
本文 警戒レベル4相当 雨竜川で氾濫のおそれ 多度志 (沼田町) 付近で河川の水位が上昇、氾濫が発生する危険があります 自治体からの情報を確認し、安全確保を図るなど速やかに適切な防災行動をとってください。今後、氾濫が発生すると、避難が困難になります



雨竜川多度志水位観測所における緊急速報メール配信

滝川河川事務所長によるホットライン

溢水箇所の浸水状況 (雨竜川KP33.0周辺)



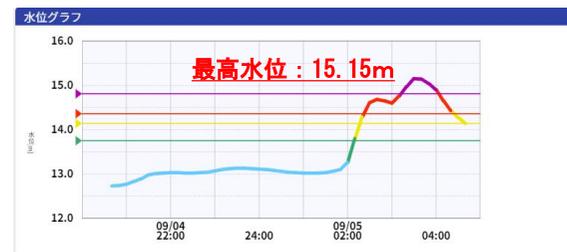
増水時の河川の様子



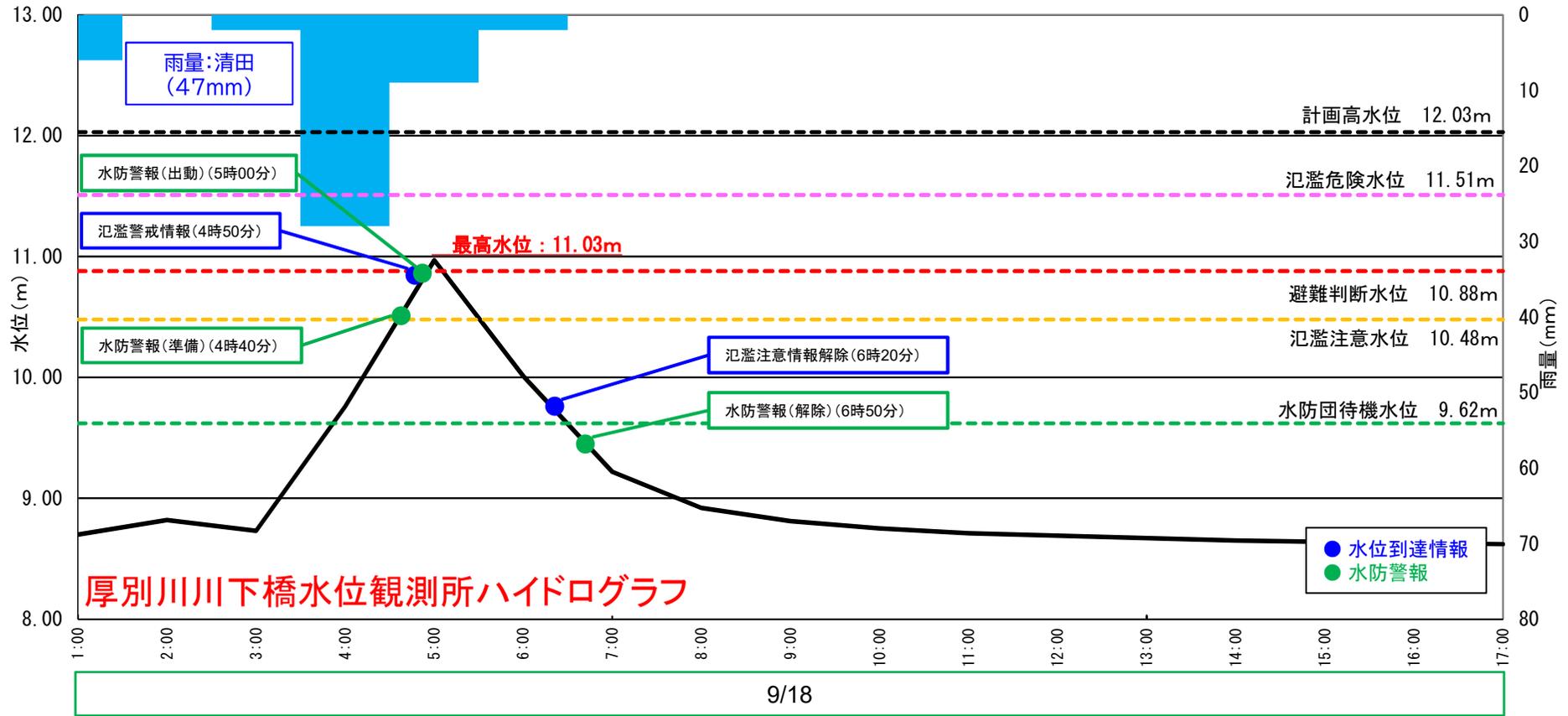
<厚別川>



<月寒川>



月寒川水位観測所（北海道管理区間）
 計画高水位15.18mに迫る水位を観測



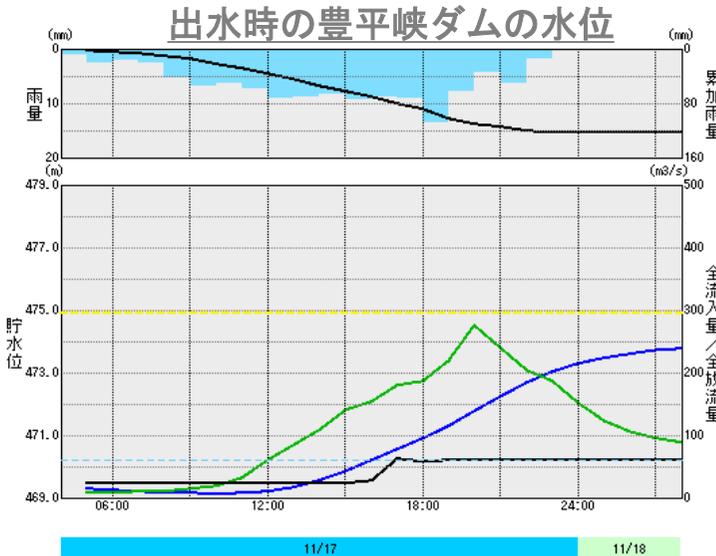
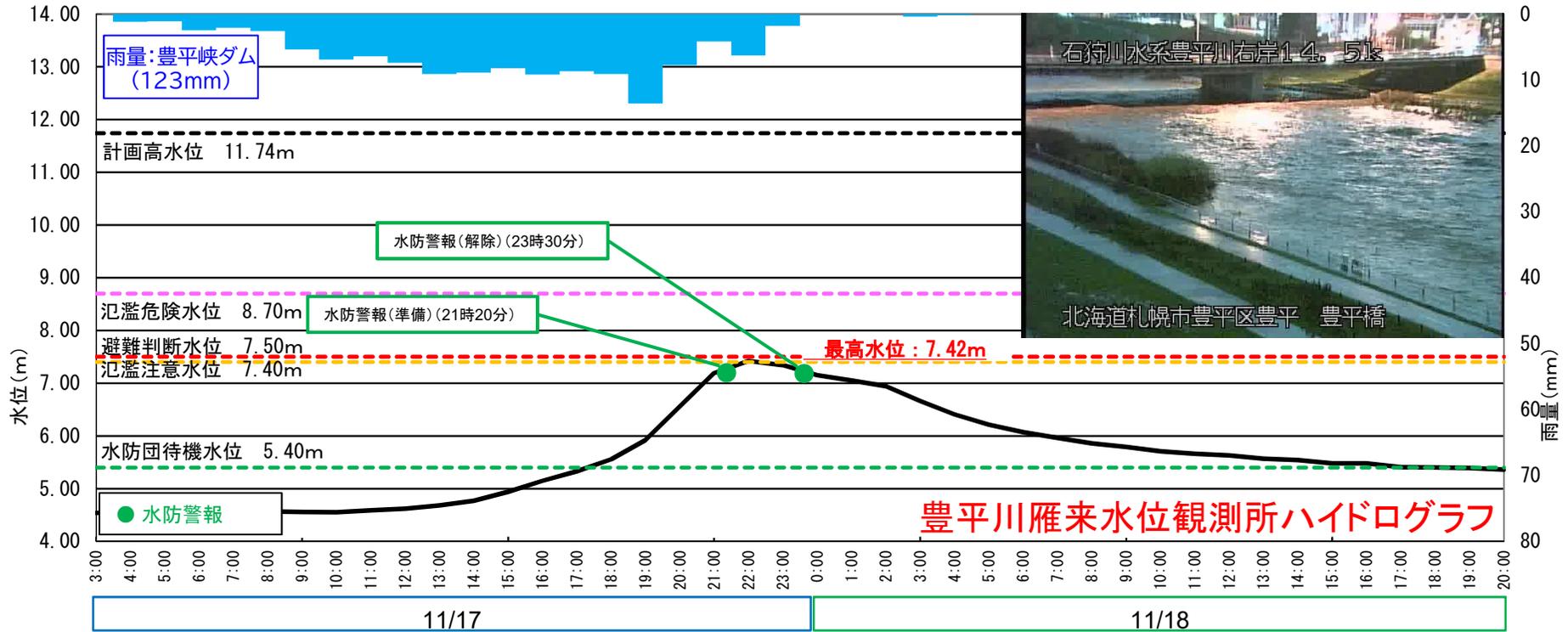
増水時の河川の様子



<厚別川>



<月寒川>



「水防協力団体」として地域に貢献する企業等を募集しています！

～水防団等が行う水防活動の後方支援やPR等のサポートをお願いします！～

全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、地域の安全を確保するために水防団等が行う水防活動は、その重要性を増しています。

一方、水防活動を行う水防団員等の減少や高齢化が全国的に進んでおり、地域防災力の低下が懸念されています。

そのため、水防団等が行う水防活動を支援・サポートする「水防協力団体」を、水防管理者（市町村長）が通年で募集しているところです。

その取組をさらに支援・強化するため、国土交通省が募集に協力を行うものです。

1. 水防協力団体制度とは

- 水防管理者（市町村長）が、水防団が行う水防活動を支援・サポートする企業・団体等を「水防協力団体」として指定するものです
(水防協力団体制度とは→ <https://zensuikan.jp/14kakuho/dantai/001.html>)

2. 水防協力団体としての主な活動内容

- 水防活動に関する普及啓発やイメージアップ等の広報活動
- 水防に必要な器具、資材又は設備の保管及び提供等の協力 など。

3. 応募方法

- 指定を希望する企業・団体におかれましては、別紙「水防協力団体応募票（兼 相談票）」に必要事項を記載の上、下記アドレスまでお送り下さい。
提出先：hqt-suibou2■ki.mlit.go.jp
(※スパムメール防止のため、メール送信時に■を@に置き換えてください。)
- まずは、水防協力団体についてのお問い合わせだけでもかまいません。

4. 集中募集期間

- 令和5年12月8日(金)～ 令和5年12月22日(金)
※なお、水防協力団体の募集は、水防管理者において、通年で行っています。

5. 問い合わせ先

水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室 金子、関澤
TEL：03-5253-8111（内線 35-452 又は 35-455）
（夜間直通）03-5253-8460

自治体・企業等からの新規参加者を公募 ～ワンコイン浸水センサ実証実験～

浸水の危険性がある地域にセンサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施しています。

このたび、令和6年度に継続実施する実証実験において、①追加の実施地区となる自治体、②実施地区において自らの施設等に浸水センサを設置・管理する企業・団体等を公募します。

○実証実験の目的

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっております。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者がセンサを設置し、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。

※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

○公募内容

(1) 対象者

- ①実証実験実施地区となる自治体（市区町村）
- ②浸水センサを自ら設置・管理できる企業・団体等（都道府県含む）

※詳細は、別添公募実施要領をご覧ください。

(2) 公募期間（1次）

- ①自治体：令和6年1月12日（金）～2月20日（火）17時まで
- ②企業・団体等：令和6年1月12日（金）～3月8日（金）17時まで

(3) 公募説明会の開催について

- 1) 開催日時：令和6年1月22日（月）10:00～
- 2) 開催方法：WEB会議（Microsoft Teamsによるオンライン開催）
- 3) 参加申込：別添公募実施要領 5. に従い、メールで申し込みください。

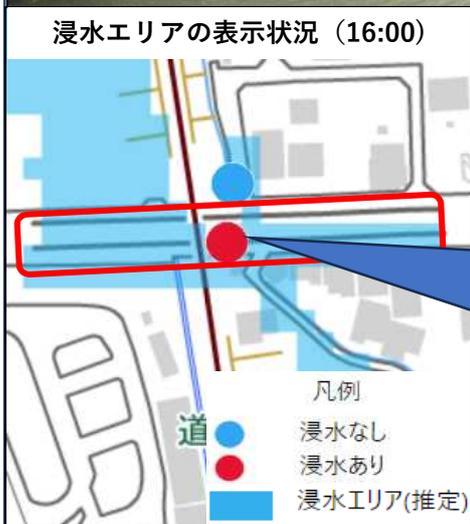
（締切：令和6年1月19日（金）14:00まで）

※報道関係者等の傍聴も可能です。

【問合せ先】

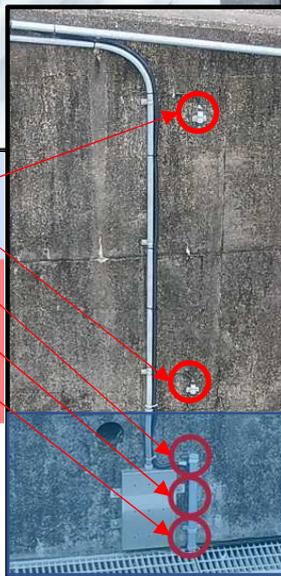
国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 外山(内線 35392)、係長 中村(内線 35394)
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

ワンコイン浸水センサ 実証実験に参加しよう



- 設置高さ: 2.5m
- 設置高さ: 1m
- 設置高さ: 0.3m
- 設置高さ: 0.1m
- 設置高さ: 0.03m

※ 異なる高さに浸水センサ設置すれば浸水高さを把握することも可能です



徳島県美波町
(実証実験参加自治体)
台風2号 (令和5年6月2日)
JR牟岐(むぎ)線
アンダーパス浸水状況

現地の浸水深実績

浸水発生時の迅速な判断・情報発信に役立つ ワンコイン浸水センサ実証実験

～ 官民連携による流域の浸水状況把握 ～

POINT!

国土交通省が 浸水センサ機器を用意します
(参加者自ら用意したセンサでの参加も可能です)

POINT!

国土交通省が 浸水情報をリアルタイムで収集・共有します

国土交通省HP ワンコイン浸水センサ実証実験

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>



官民連携で浸水状況をリアルタイムで把握する仕組みを作っています

国・自治体・企業・大学など、流域内のあらゆる関係者が参加して実証実験を実施中！

官民連携による浸水域把握（活用のイメージ）



ワンコイン浸水センサ

小型、低コストかつ長寿命で、流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



実証実験に用いている6種類の浸水センサ

- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

リアルタイムの浸水状況表示システム

各センサの情報を一元的に収集し、浸水状況を共有するシステム



※浸水センサ表示システムのイメージです。
現在はワンコイン浸水センサ実証実験参加者限定で共有しています。

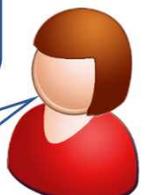
ワンコイン浸水センサ実証実験参加者の声



A自治体

浸水センサを活用することで、浸水範囲や浸水深を早期に把握することが可能となるため、避難情報発令及び通行規制の判断や面的な被害状況の把握に繋がりたい。

急な浸水や内水氾濫をいち早く把握することで管理施設の被害防止・軽減、早期復旧に活用したい。



B企業

お問い合わせ先

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
ワンコイン浸水センサ 担当
TEL : 03-5253-8446 (直通)
E-Mail : hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp